

## 【東京国立博物館】(計23件)

<絵画> (3件)

1 名称	高雄曼荼羅図像 (たかおまんだらざう)	品 質	紙本墨画
作 者 等		員 数	2帖
時 代	鎌倉時代・13世紀	寸 法 等	金剛界 縦32.0cm 横28.5cm ; 胎蔵界 縦31.7cm 横28.5cm
作品概要	<p>神護寺に現存する国宝「両界曼荼羅図」通称「高雄曼荼羅」の各尊像を白描で写し、尊像のおおよその形に切り抜いた本紙を台紙に貼り付け、列帖装としたもの。明治2年(1869)に開版された御室版高雄曼荼羅(『大正新修大蔵経』図像部第一巻所収)の底本として知られる。金剛界(全92丁)と胎蔵界(全188丁)の二帖から成る。図像の有無によって「ウ」「ム」と記された添付紙があり、金剛界は148図、胎蔵界は232図を数える(一頁に複数の図像が添付される場合も一図として数えられており、実際はもう少し多い)。一部の本紙には墨をはいた痕跡が確認でき、平安・鎌倉時代の密教図像に見られる油紙の使用が窺える。また、胎蔵界「ウ二百十七」の上方にはいっそう古様な添付紙があり、本作品の原本の添付紙が貼られた可能性がある。なお、後見返しには天保12年(1841)、高山寺の慧友による修理銘が記される。</p> <p>高雄曼荼羅は経年の劣化により、尊像の見えにくい部分も見られるが、本作品はそのような部分も良く写されており、高雄曼荼羅に描かれた尊像を復元、考察する上で非常に有用である。また、同じく高雄曼荼羅を写した鎌倉時代の図像には、長谷寺と醍醐寺に伝来した作例が現存する。同一図像を比較すると長谷寺本の方が図像の細部まで写すものも見られるが、醍醐寺本は金剛界の一部しか残されていない。さらに、高雄曼荼羅の図像が写された経緯を記す奥書が残されているのは本作品のみである。</p>		
購入金額	53,000,000円		



2 名称	源氏物語図屏風 (若菜上) (げんじものがたりずびょうぶ (わかなじょう))	品 質	紙本着色
作 者 等	伝土佐光則 (1583~1638) 筆	員 数	6曲1隻
時 代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	本紙 縦154.0cm ; 横362.0cm
作品概要	<p>屏風装。『源氏物語』第34帖「若菜上」を主題とする屏風。桜の咲く光源氏の六条院の庭で柏木らが蹴鞠に興じる中、飛び出した唐猫が御簾を巻き上げる。そこにいた源氏の正妻・女三宮の姿を見た柏木が恋に落ちるという場面を、屏風一隻に大きく描く。第6扇裏面の記述により、もとはもう一隻が存在していたと考えられる。</p>		
購入金額	9,000,000円		



3 名称	観音変相図 (かんのんへんそうず)	品 質	紙本墨画淡彩
作 者 等	雪舟等楊 (款)	員 数	1面
時 代	室町時代~江戸時代・15~17世紀	寸 法 等	本紙 縦104.0cm 横45.0cm
作品概要	<p>額装(もと掛幅装)。『観音経(法華経普門品)』に説かれる情景(黒風が吹いて船を羅刹鬼国に陥らせても、観音の名を唱えれば救済されるという場面)と三面六臂の観音図像を一図に収めた作。同様の主題を描く画幅が模本や縮図も含め複数あり、元は三十三観音図として制作されたうちの二図ないしその写しと思われる。墨画を主体としながらも、衣文や装飾などには適宜金泥を施している。落款に記される「雪舟六十七歳」は文明18年(1486)にあたり、西国の守護大名で雪舟を庇護した大内氏の観音懺法仏事に用いられたものとも想定されている。中国・明時代の洪武28年(1395)に開版された『出相観音経』の図様にほぼ一致し、雪舟による仏画制作のプロセスを探るうえでも貴重である。</p>		
購入金額	14,000,000円		



<刀剣> (1件)

4 名称	[重要文化財]太刀 銘 備前国長船住左衛門尉藤原朝臣則光 於作州鷹取庄黒坂造 鷹取勘解由左衛門尉菅原朝臣泰佐打ス之 長祿參年己卯十二月十三日 (たち めい ひぜんのくにおさふねじゅうさえものじょう うふじわらのあそんのりみつ さくしゅうたかとのしょう くろさかにおいてつくる たかとりかげゅうさえものじょう うすがわらのあそんたいすけこれをうたす ちょうろくさん ねんつちのとうじゅうにがつじゅうさんにち)	品 質	鉄製鍛造
作者等	則光	員 数	1口
時 代	長祿3年(1459)	寸 法 等	刃長68.1cm 反り1.9cm
作品概要	<p>鑄造、庵棟。刃長、身幅とも尋常で、先反りつき、中鋒。表裏に棒樋と添樋を掻き、梵字と護摩箸を彫る。地鉄は精美な板目で、地沸つき、淡く映りが立つ。刃文は互の目に丁子を交えて華やかで、匂口深く小沸づいて冴える。刃中に足、葉しきりに入り、金筋かかり、変化に富む。茎は生ぶで鎌目は勝手下がり、先は栗尻、目釘穴二つ。表裏に長銘を切る。</p> <p>本品は「注文打」ともいわれる特注品である。銘文の内容から、美作国鷹取庄黒坂(現岡山県勝田郡勝央町黒坂)一帯を所領とした武士とみられる鷹取泰佐が、長祿3年(1459)に備前長船刀工の則光を招いて製作させたものであることがわかる。</p>		
購入金額	45,000,000円		



<東洋絵画> (11件)

5 名称	光背化仏図(こうはいけぶつず)	品 質	土壁彩色
作者等		員 数	1面
時 代	6~8世紀	寸 法 等	高33.3cm 幅21.4cm
作品概要	<p>如来像の光背の一部である。画面の左側には如来像の衣の端と光背の線の一部を、そして右側には化仏2尊を描く。化仏は頭の後ろに頭光を表わし、両手は印を結び、両足は蓮の花の上に坐す。着衣の形式は通肩である。化仏が坐る蓮の花の下には左右両側にそれぞれ茎とつぼみを描く。2本の茎は化仏の左右を囲むように上に伸び、化仏の上で結び目を作る。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。</p>		
購入金額	6,579,165円		



6 名称	女子供養者図(じょしくようしゃず)	品 質	土壁彩色
作者等		員 数	1面
時 代	8~9世紀	寸 法 等	高19.0cm 幅21.7cm
作品概要	<p>女子供養者図の一部である。女子供養者が両手で柄香炉を持つ。柄香炉から煙が立ち上る。女子供養者は長い髪を内側に丸めて肩の上にまとめ、頭部の左側に髪飾り、右耳に珠をつなげたイヤリングをつける。大袖のゆったりした內衣を着て、肩に大きな連珠円文を表わした肩掛けを羽織る。女子供養者も柄香炉も墨線だけで描く。女子供養者の上方にはベンガラ色の線で開蓮華文を描く。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。</p>		
購入金額	6,054,446円		



7 名称	蓮池図（れんちず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	7～9世紀	寸法等	高10.6cm 幅20.1cm
作品概要	蓮池図の一部である。画面の上方には欄干、中央には上半身裸形の童子と蓮のつぼみ、そして右下には蓮のつぼみの中で化生を待つ童子を描く。欄干に囲まれた宝池の中で化生した童子と思われる。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	6,175,535円		



8 名称	天人舞踊図（てんにんぶようず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	6～8世紀	寸法等	高17cm 幅14.2cm
作品概要	天人舞踊図の一部である。天人は上半身裸形で、天衣を翻して踊る。天人は頭には宝冠を戴、右上腕に腕釧、首に長い瓔珞を掛ける。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	4,954,555円		



9 名称	酒宴図（しゅえんず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	6～8世紀	寸法等	高34cm 幅23cm
作品概要	胡人の酒宴図の一部である。画面の中央には胡人が胡坐し、その周りに唐風の服装をした仕女3人が給仕するさまを描く。胡人は頭髪が巻髪で、その上に帽子を被り、腰にベルトを締め、短剣をつける。右手で仕女1人を抱きかかえている。胡人に向かって右側後ろには、双髻の若い女性が正面を向き、右側下方には女性が水瓶を持って立つ。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	6,589,256円		



10 名称	蓮池図（れんちず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	6～8世紀	寸法等	高27.7cm 幅32.8cm
作品概要	蓮池図の一部である。画面の上方と下方には欄干、中央に童子、童女、女性をそれぞれ描く。童子と童女はいずれも裸形である。女性は水着のような服を着ている。欄干に囲まれた宝池と思われる。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	6,891,978円		



11 名称	菩薩図（ぼさつず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	6~8世紀	寸法等	高13.6cm 幅26.1cm
作品概要	菩薩2尊を描く。いずれの菩薩も頭の後ろに光背を表わす。菩薩の頭部から下は欠損する。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	5,045,372円		



12 名称	千仏図（せんぶつず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	6~7世紀	寸法等	高36.2cm 幅22.1cm
作品概要	千仏図の一部である。画面は方形が6面に区画され、その中にそれぞれ通肩定印の坐仏を描く。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	5,146,279円		



13 名称	排簫奏者図（はいしょうそうしゃず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	6~8世紀	寸法等	高29.2cm 幅23.7cm
作品概要	胡人が排簫を吹く姿を描く。胡人は胡服に身を包み、ベルトで腰を締め、短剣を付ける。ペンガラで輪郭線を描く。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	4,944,465円		



14 名称	菩薩・毘那夜迦図（ぼさつ・びなやかず）	品質	土壁彩色
作者等		員数	1面
時代	6~8世紀	寸法等	高24.1cm 幅30.1cm
作品概要	画面中央には菩薩1尊、左側に菩薩1尊、右側に毘那夜迦1尊をそれぞれ描く。中央の菩薩は、頭や身体の後ろにそれぞれ光背を表わす。頭の上に三面宝冠を戴く。坐勢は交脚坐である。右の毘那夜迦は猪頭四臂で法螺貝を持つ。身体の後ろに光背を表わす。坐勢は交脚坐である。左の菩薩は頭部をうっすらと確認するものの、そのほかは剥落が著しい。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる。		
購入金額	5,368,276円		



15 名称	光背化仏図（こうはいけぶつず）	品 質	土壁彩色
作 者 等		員 数	1面
時 代	6～8世紀	寸 法 等	高28.8cm 幅19.0cm
作品概要	如来像の光背の一部である。画面の左側には如来像の衣の端と光背の線の一部を、そして右側には化仏2尊を描く。化仏は頭の後ろに頭光を表わし、両手は印を結び、両足は蓮の花の上に坐す。着衣の形式は通肩である。葉文の中に、定印の坐仏を描く。坐仏は、仏立像が描かれていたと思われる左方に顔を向けて坐している。坐仏の法衣はベンガラ、頭部は黒色に塗られている。本作品は仏教寺院の壁面に描かれていたと考えられる		
購入金額	5,852,632円		



<東洋彫刻> (8件)

16 名称	菩薩像頭部（ぼさつぞうとうぶ）	品 質	塑造彩色
作 者 等		員 数	1個
時 代	3～4世紀	寸 法 等	高21.6cm 幅18.5cm 奥行14.0cm
作品概要	小さく巻いた黒い髪を束ねて髻にし、赤い玉をつないだ飾りで結ぶ。頭頂には孔が穿たれている。顔は白く、唇は赤く塗られている。眉の線を弧状に引き、髭を細く描く。耳朶に耳環を付ける。本作品は仏教寺院に設けられた仏龕に安置されていたと考えられる。		
購入金額	14,086,680円		



17 名称	菩薩像頭部（ぼさつぞうとうぶ）	品 質	塑造彩色
作 者 等		員 数	1個
時 代	唐時代・7～10世紀	寸 法 等	高15.2cm 幅10.7cm 奥行11.4cm
作品概要	頭髪は生え際を表すが、束ねた髻はすでに欠失している。その箇所にも芯が見える。髪が生え際には黒の彩色が残る。顔の表面の彩色はほぼ失われているが、両目の瞳には黒色、唇には赤色が残る。本作品は石窟寺院の洞窟内に設けられた仏龕に安置されていたと考えられる。		
購入金額	9,737,568円		





18 名称	乾闥婆像頭部（けんだつばぞうとうぶ）	品 質	塑造彩色
作 者 等		員 数	1個
時 代	唐時代・7～10世紀	寸 法 等	高41.4cm 幅29.2cm 奥行3.6cm
作品概要	乾闥婆が被っていた獅子兜は上部を欠損するも、その両側は兜の形状を残している。大きく見開いた眼には、当時、象嵌が施されていたと見える孔が残っている。鼻は大きく鷲鼻で、口角を引き、顎に髭を蓄える。本作品は石窟寺院の洞窟内に設けられた仏龕に安置されていたと考えられる。		
購入金額	9,222,940円		



19 名称	仏坐像（ぶつざぞう）	品 質	塑造彩色
作 者 等		員 数	1面
時 代	北魏時代・4～6世紀	寸 法 等	高41.4cm 幅29.2cm 奥行3.6cm
作品概要	頭の後ろに頭光、身体の後ろに身光をそれぞれ表わす。頭光はほぼ円形で、黄色を塗り、墨線で描き起こす。身光は三重の楕円形で、内側を白色、中を橙色、そして外側を赤褐色に塗る。着衣は通肩である。両手は腹の前で印を結び、両足は方形台座の上に坐す。本作品は石窟寺院の洞窟内の壁面に貼り付けられていたと考えられる。		
購入金額	12,129,075円		



20 名称	仏坐像（ぶつざぞう）	品 質	塑造彩色
作 者 等		員 数	1面
時 代	北魏時代・4～6世紀	寸 法 等	高22.9cm 幅18.1cm 奥行3.0cm
作品概要	頭の後ろに頭光、身体の後ろに身光をそれぞれ表わす。頭光はほぼ円形で、黄色を塗り、墨線で描き起こす。身光は三重の楕円形である。着衣は通肩である。両手は腹の前で印を結び、両足は方形台座の上に坐す。本作品は石窟寺院の洞窟内の壁面に貼り付けられていたと考えられる。		
購入金額	8,355,136円		



21 名称	文官立像（ぶんかんりゅうぞう）	品 質	土製彩色
作 者 等		員 数	1軀
時 代	唐時代・8世紀	寸 法 等	高28.4cm 幅7.5cm 奥行3.8cm
作品概要	頭に黒い帽子を被り、白い中国式の文官の服を着る。ベルトで腰を締める。両手は前に組み、左胸の上に載せる。顔は白く塗り、両眉、両目、口髭を墨線で、唇を朱線で描く。		
購入金額	8,849,583円		



22 名称	仏立像（ぶつりゅうぞう）	品 質	ストゥッコ、彩色
作 者 等		員 数	1軀
時 代	6～7世紀	寸 法 等	高16.9cm 幅7.7cm 総高3.0cm
作品概要	頭の後ろに頭光を表わし、右手を挙げて、左手を下げて、蓮の花の上に立つ。着衣の形式は通肩である。仏の背後を黒色、頭光を褐色、衣を緑色に塗る。本作品は仏教寺院に設けられた仏龕の壁面に貼り付けられていたと考えられる。		
購入金額	7,870,780円		



23 名称	ストゥッコ及びテラコッタ製出土資料 （すとらっこおよびてらこったせいしゅつどしりょう）	品 質	
作 者 等		員 数	1件（71個）
時 代	6～7世紀	寸 法 等	
作品概要	ストゥッコ製断片資料26個、テラコッタ製・陶製断片資料43個、壁画断片資料2個の計71個からなる。		
購入金額	5,146,279円		

